



2月27日、高梁市との共催により高梁市文化交流館で「地域のきずな」をテーマに、本市におけるボランティア活動の活性化を目的としたボランティア研修会を開催しました。当日は、ボランティアに対する認識を深めようと多くの参加があり、会場内の座席は満席になりました。

また、研修会に併せて東日本大震災の復興支援の一環としてチャリティーバザーを行いました。
(8面に関連記事)

福祉座談会を開催しました…2~3☞

- ふれあいサロン活動紹介…4☞
- 赤木五郎賞、福祉車両の寄贈について等…5☞
- 高梁市シルバー人材センター…6☞
- 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金実績報告…7☞
- 地域福祉活動報告…8~9☞
- お知らせ…10☞
- 寄付…11~12☞



地域福祉活動計画策定に向けて

福祉座談会を開催しました

1月17日から市内15地区において、福祉座談会を開催しました。

この福祉座談会は、各地域の実情や福祉課題等について、幅広いご意見を伺い、地域福祉活動計画に反映するために行っており、それぞれの地区において熱心に話し合われました。

『誰もが安心して暮らせる住み良いまちづくり』を目指し、地域福祉活動計画策定に取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

今回の座談会での主なご意見は次のとおりです。

社会福祉協議会の賛助会費について

Q 賛助会費がどのように使われているか理解が得れていないため、加入率が低いのではないのか。

平成22年度は、822万1千円の賛助会費をいただいております。主な活用状況は、ふれあいサロン事業等の地域福祉活動事業に439万6千382円、ふれあい福祉講座等のふれあいのまちづくり事業に119万6千450円を活用しております。また、広報紙やホームページに詳しく掲載しておりますので、ご覧ください。

賛助会費へのお願については、年度当初に福祉委員を対象とした福祉委員連絡会や福祉委員の選出のない町内会には、町内会長宅に伺い、ご協力をお願いしております。引き続き、市民皆さんにご理解いただけるよう取り組んでまいりますので、ご賛同をよろしくお願いいたします。

福祉委員について

Q 民生委員と福祉委員は連携して行かなければならない。1年で交替する福祉委員もいるので、お互いの顔を交わす合同会議等を行い、民生委員や行政との連絡体制の体制を作っていきたい。また、

地域ネットワークづくりの上で、地域をよく知る福祉委員がしっかり活動を行えるような体制づくりや一人暮らしの安否確認の体制づくりを社会福祉協議会で研究してもらいたい。

今回の座談会のように民生委員、福祉委員、地区社協を含めた合同会議等の機会を設け、地域の横のつながりが根付くことを目指します。

福祉委員の活動については、早期発見や見守り目配りをお願いしており、また、現在、福祉委員の必要性・重要性をより分かりやすい内容とした「福祉委員の活動の手引き」の改訂を進めております。小地域ネットワークづくりの推進等、地域福祉活動計画の策定の中で研究していきます。



賛助会費について

市内外の方々へご協力をお願いしております。平成23年度賛助会費について、多くの方からご理解ご賛同を賜り、ありがとうございます。

皆さまからいただきました貴重な浄財は、高梁市の地域福祉推進のため、ふれあいサロン事業等の事業へ活用させていただきます。

また、引き続き、本市社会福祉協議会では、皆様と共に、住み慣れた地域で安心して暮らせる「ささえあい・たすけあい」のまちづくりに取り組んでまいりますので、賛助会費のご協力をよろしく願います。

なお、2月末現在で、お寄せいただきました会費は790万1千円となっております。

賛助会員

- 普通会員
 - 高梁市民 1口1,000円
- 法人会員
 - 市内の法人（事業所を含む） 1口3,000円
- ふるさと会員
 - 市外居住者 1口3,000円
- 特別会員
 - 特別な協力者 1口5,000円

地域福祉活動計画について

Q 確実に高齢化は進んでいるのが現実なので、このことを念頭においた計画を望みます。身近で急いでしなければならぬことがたくさんあります。

地域状況も変わってきているため、是非皆さんの意見をお聞かせいただきたい。

皆さんの幅広い意見を元に、地域福祉活動計画を策定してまいります。

社会福祉協議会の自主事業について

Q ふれあいサロン活動事業について、参加者がだんだん減ってきており、今は何とかサロンが出来ているが、そのうち人数を切る場合もありそうだ。何か良い方法はあるか。

町内単位で身近に寄って集まれる小さなサロンは、地域で集まる場として理想的だと思います。

また、交流や情報交換にもつながる他のサロンと一緒にサロンを行ってみるのも新しい試みになると思います。



その他福祉に対するご意見等

○福祉に関する人材を育てること、より一層福祉の充実を図っていく必要もある。

○社会福祉協議会は、自己資金が無いことは承知しており、住民の協力を得なければならぬ組織である。社協の認知度や地域でのつながりが薄くなっている。「社協」の位置づけを計画に盛り込んでいただきたい。○ボランティア活動に限界がきている。地区単位でなく、みんなで支え合える小さな範囲での活動が必要なのではないか。

※このほかに、多くのご意見をいただいております。これらのご意見につきましては、地域福祉活動計画へ反映させていただき、より良い計画策定に取り組んでまいります。

アンケートの実施について

現在、市民2,500人を対象とした福祉に関するアンケートを実施しております。

このアンケートは、福祉座談会と同様に地域福祉活動計画の策定において、幅広い意見を伺うために行っており、ご回答いただきました内容はすべて統計処理を行い、個人が特定されることはありません。また、地域福祉活動計画に関すること以外には使用しませんので、ご協力をお願いいたします。

また、アンケートの回答期限は平成24年4月20日で、アンケート記入後は、返信用封筒に入れて郵便ポストに投函いただくか、社会福祉協議会窓口までお届けいただきますようお願いいたします。

平成23年度 社協賛助会費にご協力いただいた法人及びふるさと会員
ご協力いただいた法人及びふるさと会員のお名前を掲載いたします。ご協力ありがとうございました。

■ 法人会員

(成羽地区)

株式会社 ナリケンテクノ
有限会社 成羽砂利

(順不同、敬称略)

12月16日～2月29日現在



ふれあいサロン活動紹介

代表者からのコメント

私たちのサロンは平成22年6月から活動を始め毎月活動しています。みんな毎月の集まりを楽しみにしています。昨年は毎月の活動の他に年間活動目標として「エコ灯籠」130本を全員で作りました。道路の沿道1.3km間に灯りが入り、完成した時にはケープブルテレビにも取り上げられ地域の方にも喜ばれ、達成感がありました。

これからも、体力に合った運動、手芸、料理等を計画し会員相互の「健康で笑顔、絆」を大切に活動していきたいと思えます。



川面町 鴨谷ふれあいサロン

2月14日は「節分」にちなんで豆を使つての手芸、「お手玉作り」に挑戦しました。高齢のため、近くの物が見えにくくなり、一針一針が大変でしたが、時間をかけて何とか出来上がりしました。

その後、お手玉を使つてのゲームや遊びで楽しい時間を過ごしました。

今後も昔培った業を思い出しながら新たな活動に挑戦していきたいと思えます。



有漢町 安元パワーズ



1月15日、氏神様王子権現宮において、地域行事の一つであるお矢弓祭で、サロン会員25人が交流を行いました。

このお矢弓祭りは、江戸時代(天和三年)に田畑を荒らす大猪を神職である畠木千武太夫が弓で射止めたことに始まり、昭和初期頃は中断しましたが、平成になり復活し毎年行われています。

また、この日は、女性参加者が作った郷土料理の権現汁に舌つづみを打ちながらカラオケなどを楽しみ懇親を深めました。

代表者からのコメント

私たちの取り組みは、地域に伝わる行事や日常の娯楽に少し新しいメニューを加えたものです。地域は高齢化に伴い、一人暮らしや体の不自由な方も増えており、外出する機会も少なく、引きこもりがちな人の情報を少しでも多く共有したく、月1回定例会を持ち、生活の出来事を話し合っています。毎回「全員参加」を目標としていますが、大体8割程度の参加です。参加出来ない人には、年1回弁当を配っています。行事の賑わいは昔より薄らいでいますが、歌い、食べ、喋り、スポーツを通して元気を貯えながら笑いの生まれる、日々であればと願っています。

お知らせ

平成23年度のふれあいサロン活動事業について、事業実施が完了されたサロンについては、事業実績報告書の提出をお願いします。提出先は地域福祉課または各支所です。

また、平成24年度は申請書類の内容を一部見直しをしており、必要に応じて活動助成金の概算払いも行いますのでご相談ください。

その他詳しい内容は、次回5月号でお知らせします。

赤木五郎賞

第11回赤木五郎賞の贈呈式が2月22日、高梁国際ホテルで行われ、近藤市長から贈呈がありました。

この褒賞は、保健医療・福祉・環境分野において功績の顕著な個人又は団体に対し、毎年行われています。

本年度の赤木五郎賞を受賞された方々は次のとおりです。

【保健医療分野における功績】

(個人)

- ▽江草 敬治さん (成羽町)
- ▽廣恵 俊雄さん (中井町)
- ▽穴田 英子さん (成羽町)

【福祉分野における功績】

(個人)

- ▽村上 清夫さん (荒神町)
- ▽平田 重光さん (松原町)



今回の赤木五郎賞に、平田重光さん(松原町)が永年にわたる高梁市社会福祉協議会役員としての功績が認められ受賞の栄となりました。

受賞者の声 赤木五郎賞受賞にあたり

前高梁市社会福祉協議会長 平田 重光

高梁市社会福祉協議会の推薦により、第11回赤木五郎賞の受賞の榮譽に浴させて頂きました。

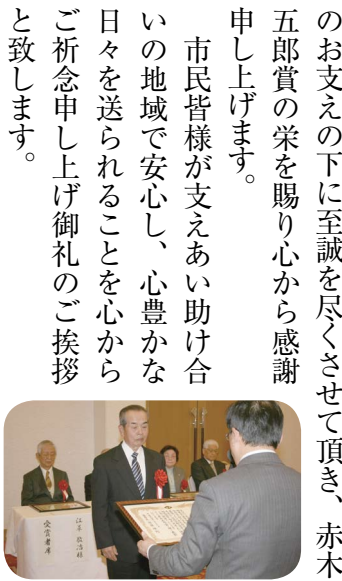
この榮譽は、市民皆様をはじめ社会福祉協議会の役員の方々のご支援のお陰であり、衷心より厚く御礼申し上げます。

私は、平成8年に高梁市助役就任により、社協理事に就任して以来14年間、副会長、会長の要職を歴任させて頂きました。

力不足ではありましたが、市民皆様のご理解とご協力を賜り、合併による相乗効果・賛助会費・福祉委員活動・ふれあいサロン、介護事業等地域福祉活動を全市で展開して頂くため、役職員の意識の啓発、職員の自己研鑽による職務能力向上を図りながら、社協の福祉サービス提供の使命を果たす事が出来たと自負させて頂いています。

社会福祉協議会の歴史の一頁を市民皆様方のお支えの下に至誠を尽くさせて頂き、赤木五郎賞の栄を賜り心から感謝申し上げます。

市民皆様が支えあい助け合いの地域で安心し、心豊かな日々を送られることを心からご祈念申し上げ御礼のご挨拶と致します。



福祉車両の

寄贈について

西日本放送株式会社岡山本社では、「愛は地球を救う」という連帯の理念をテーマとして、テレビを通じてチャリティーに取り組まれ、これまでに多くの福祉車両を寄贈されてきました。

2月8日、同社において、本市社会福祉協議会を含む県内の団体に3台の福祉車両の贈呈が行われました。

本市社会福祉協議会では、地域福祉活動や在宅福祉サービスにこの寄贈車両を活用しています。



福祉施設の作品展示コーナー

川上いきいき交流館

編み物



一目一目丹精込めて編み、仕上げました。

人形



キュービー人形に着物や小物を作って着せ、奥津温泉洗濯娘と命名しました。

革細工



1つ1つ模様を打ち色づけをし、仕上げました。

備中デイサービスセンター

ロングコートチワワ



毛糸だワン 癒してあげるワン 餌はいらないワン

社会のために、自らのためにあなたの豊かな知識と経験を活かしてみませんか！

高梁市シルバー人材センター

☆シルバー人材センターとは？

◎「自主・自立・共同・共助」の理念を基本として、働く意欲のある高齢者の自主的な会員組織です。

◎高齢者にふさわしい仕事を引き受けています。

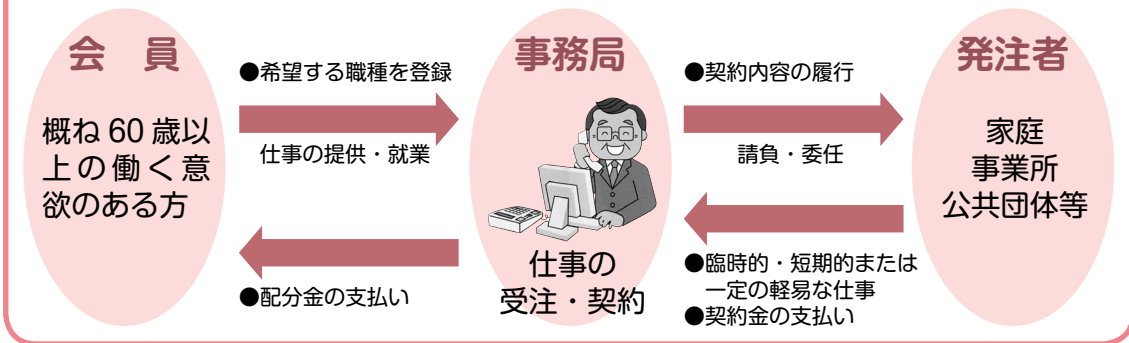
◎仕事を通じて、健康保持や生きがいを持ち、地域社会の貢献に繋がっています。

◎（社福）高梁市社会福祉協議会が運営しています。

お任せください！



☆シルバー人材センターのしくみ？



◎事務整理業務 (賞状書き・宛名書き等)



◎専門技術・技能業務 (庭木の剪定・防除、大工、自動車運転等)



◎単純作業業務 (除草・草刈・草取り、施設清掃・公園清掃、パンフレット等の仕分と袋詰)



☆仕事の種類

《会員募集中》

お問い合わせ先

*高梁地区 ☎22-7243
 *成羽地区 ☎42-2005
 *備中地区 ☎45-3131

*有漢地区 ☎57-3218
 *川上地区 ☎48-9770



安全講習会を開催

2月22日、シルバー会員の草刈作業従事者を対象に、安全講習会を開催しました。

この講習会は、刈払機での草刈り作業における事故防止を目的とし、講師に、岡山県労働基準協会新見支部の林業災害防止協会指導員三宅政氏を招き、「刈払機は、肩掛け式腰バンドやメガネ等の保護具を必ず着用する」、「作業は、15mの間隔を保ち、危険区域は5mとし他の作業者を入れないこと」などの講話や指導を受け、安全作業の認識を深めることが出来ました。



平成23年度 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金にご協力いただきありがとうございました



歳末たすけあい募金 実績報告

市内のボランティア団体や福祉団体12団体に活動費の助成を行いました。

募金区分	募金額(円)
戸別募金	2,467,808
法人募金	1,000
個人募金	13,874
その他の募金	70,871
合計	2,553,553

歳末たすけあい運動は、新たな年を迎える時期に、地域で安心して暮らすことができるよう、住民の参加や理解を得て、様々な福祉活動を実施しています。今年も在宅で生活されている重度の介護者の方や難病者等230名の方へ慰問金としてお届けしました。また、年末年始に福祉活動を行った

赤い羽根共同募金 実績報告



多くの方々からのあたたかいご協力をいただき、たくさん募金が集まりました。平成23年度に寄せられました募金は、平成24年度に社会福祉協議会や民間福祉施設等に配分されます。この募金は、皆さんの地域で幅広く使われ、地域福祉の推進に役立てさせていただきます。

募金区分	募金額(円)
戸別募金	4,459,753
街頭募金	56,878
法人募金	828,000
学校募金	23,812
職域募金	591,600
その他職域	1,297
イベント募金	15,333
個人募金	18,042
団体募金	71,712
その他の募金	25,190
合計	6,091,617

～歳末たすけあい募金で広がる地域の絆～

高梁市手話ボランティアの会



クリスマス会を開催し、一年間稽古した手話歌や、劇などを発表しました。また、全員でクイズに挑戦し、手話で答えました。

備北商工会女性部

3か所の施設を訪問し交流しました。入所者の方から「今年一年元気で過ごせました」との笑顔に女性部員も安心しました。

高梁市身体障害者福祉協会

重度障害者の方を慰問しました。

有漢町ボランティアあじさいの会



年末年始を含む年4回、手作りのお寿司弁当で友愛訪問、「毎回、楽しみにしています」と大変喜ばれています。

備中町ヘルスポランティア連絡会



80歳以上のひとり暮らし、夫婦のみの世帯へおせち料理を作り、お届けしました。

かぐら街道布寄直売所



施設を訪問し、昔を思い出しながらの杵つき餅を作り、入所者の方とふれあいました。

かたつむりの会

一人暮らしの高齢者と一緒に食事を作り、クリスマス会と誕生日会をしました。

川上地区歳末友愛訪問ボランティア

地区全域の75歳以上の一人暮らし、高齢者世帯の方へ、ボランティアでお弁当を作り安否確認を兼ねた友愛訪問をしました。

川関婦人部

地区の80歳以上の42人の方へ、昔ながらの大きなおはぎを作って、近況を伺いながら、友愛訪問しました。

ひまわりボランティア

あざみボランティア

四ツ葉の会

年末年始を施設や寮で過ごす利用者を訪問して、一緒にお正月を過ごしました。



赤い羽根たすけあい号整備

高梁市社会福祉協議会では、岡山県共同募金会から特別配分を受けて5人乗り乗用車を購入しました。

この車両は、地域福祉活動や在宅福祉サービスに活用しています。



ボランティア研修会 2/27

今回の研修会では、落合ひまわりの会の原田純子会長（高梁市）、ひざかけキルトの会いばらの村上典子会長（井原市）に、ボランティア



活動を始めたいきっかけやボランティア活動の継続のポイントについての実践発表をいただき、その後、大阪ボランティア協会のコーディネーター白井恭子氏を講師に、「ボランティアがつなぐ地域のきずな」と題した講演を行いました。また、チャリティーバザーでは、大勢の来場者で賑わい、12万円の収益金がありました。この収益金は全額、多賀城市社会福祉協議会（宮城県）へ支援金として送金いたします。

このバザーには、川面町の山本馨さんよりご寄附いただいた衣類や職員から募った小物・雑貨をバザー品として出品しました。皆様のご協力ありがとうございました。

リーダー研修会を開催 1/26

川上地域老人クラブ

高梁市健康増進施設「朝霧温泉ゆ・ら・ら」において、川上地域老人クラブリーダー研修会が開催されました。

当日は、単位クラブのリーダー40人が参加し、会長挨拶の後、今年度会員加入促進運動に尽力された優良老人クラブ2クラブ（地頭老人クラブ・三沢長寿会）の表彰状伝達を行いました。続いて、講師に近藤市長を迎え、「高梁市政の概要について」と題して、これからの高梁のまちづくりの方向性や具体的な施策等の講話に、会員一同真剣に聞き入っていました。その後、会員の生活を豊かにする活動・地域を豊かにする社会活動・老人クラブ会員の加入促進等「活力ある老人クラブづくり」について研修を行いました。



ボランティア来訪 1/26

備中デイサービスセンター



備中デイサービスセンターに「すずめの会」3人と「健康応援団」5人が、ボランティアに訪れ、利用者と交流しました。

この日は、すずめの会による勇壮な『重忠節』や華やかな『花笠音頭』などの民謡踊りを披露され、また、健康応援団による『備中音頭』では利用者と一緒に踊るなど楽しいひとときとなりました。

利用者からは「毎日でも見たい」、「とても楽しく過ごせた」と感想があり、次回の訪問を心待ちにするほど喜んでおられました。

有漢地区社協との交流 2/5

備中地区社会福祉協議会

備中地区社会福祉協議会では、有漢地区社会福祉協議会と有漢保健センターで交流会を開催しました。

備中地区から9人、有漢地区から10人の委員が参加し、最初にそれぞれの地域の説明を行い、その後意見交換しました。

参加した委員は、「有漢地域特有の事業である敬老会や集落福祉活動事業について、とても勉強になった。備中地区でも参考にしたい」と話され、お互いの地域での活動を知ることができ、有意義な一日となりました。



地域福祉活動 報告

有漢東小学校5、6年生11人が車いす体験と高齢者疑似体験を行いました。

有漢東小学校では、毎年2月に介護福祉施設を訪問し、高齢者との交流を行っており、施設訪問するにあたり、車いす介助の仕方や高齢者への接し方を学びました。

疑似体験装具を装着してみて、普段何気ない動作でも、高齢者にとっては大変であることが分かり、介助する側の大切さを感じていました。



出前講座開催 2/7
高梁市立有漢東小学校



巨瀬デイサービスセンターに、ボランティアグループ「虹の会」会員10人が訪れ、1月19日から2月16日までの5回にわたり利用者との交流しました。踊る曲ごとに、手作りの衣装に着替え、すばらしい踊りに利用者は、拍手大喝采でした。

また、一緒に歌ったり、ジャンケンゲームをしたりと時の過ぎるのも忘れて楽しいふれあいとなりました。

利用者からは「家に居たら見られん」、「地元の人の顔が見れて良かった」と感想があり、大変喜ばれていました。

ボランティア来訪 1/19、2/16
巨瀬デイサービスセンター

有漢東小学校1、2年生の昔あそび交流会に、有漢地域老人クラブの会員が講師として参加しました。

今年度は2回の交流依頼があり、2回目のこの日は、老人クラブ会員10人と児童19人が、会員手作りの竹馬、ビー玉、あやとりなどで交流しました。

初めて竹馬に乗る児童が多く、会員に支えてもらい「体を前に倒して」、「もう少し上の方を持って」など、声を掛けてもらいながら体験し、雪が舞う屋外での2時間があったという間に過ぎた交流会でした。



小学生と昔遊びで交流 2/9
有漢地域老人クラブ



グループホームささゆり苑へ布寄小学校児童の訪問がありました。

同校は、毎年、ささゆり苑へ慰問や奉仕作業を行っていましたが、本年度をもって閉校となるため、今回が最後の交流となりました。

交流では、児童と一緒に歌、はり絵、福笑いなどを行い、笑い声が絶えない楽しい時間を過ごすことが出来、また、今までの感謝を込めた手作りのお手玉、布ぞうり、塗り絵を児童にプレゼントしました。

最後に、入居者から「学校が変わっても、また、元気に遊びに来てください」と話され、別れを惜しんでいました。

小学生との交流 2/28
グループホームささゆり苑

平成24年度
**ふれあい
相談と援助**

種 別	福祉総合相談	身体障害者相談
担当相談員	常任相談員	身体障害者相談員
場 所	高梁総合福祉センター	高梁総合福祉センター
時 間	10:00 ~ 15:00	10:00 ~ 15:00
月/日	4月19日(木)	4月5日(木)
	5月17日(木)	



☆各支所で定例の相談日はありませんが、随時相談に応じます。
 ☆5月の身体障害者相談については、5月3日(木)が祝日のため開催がありません。
 ☆相談予約や問合せ先は次のとおりです。

本 所 ☎ 22-7243 有漢支所 ☎ 57-3218 成羽支所 ☎ 42-2005
 川上支所 ☎ 48-9770 備中支所 ☎ 45-3131

※プライバシーは完全に守ります。お気軽にどうぞ。

このマッサージ
 ジチエアは、同
 センターの利用
 者が快適に集え
 リラックスでき
 る環境を整える
 ことを目的に設
 置されました。



マッサージジチエアが入りました
 高梁市が実施した岡山県地域支え
 合い体制づくり事業により、このた
 び高梁総合福祉センターにマッサー
 ジチエア2台が
 入りました。

4月1日から活動を始められる個人・団体の方は3月31日までに地域福祉課または各支所へ保険加入をお申し込みください。

ボランティア活動保険について

平成23年度のボランティア活動保険の補償期間が3月31日で終了となります。

福祉委員について
 地域で見守りなどの福祉活動を行っていたらいている福祉委員の任期は原則2年ですが、再任することができます。
 任期満了や任期途中で福祉委員を交代された場合は、地域福祉課または各支所までご連絡ください。

介護職員さんのおすすめレシピ

こんなに簡単！ヘルシー蒸し料理

豚肉と野菜の重ね蒸し



☆材料 2人分☆
 豚バラ肉(薄切り)・・・200g
 もやし・・・1袋(200g)
 白ねぎ・・・1/2本
 人参・・・1/3本
 キャベツ・・・1/8ケ
 バター・・・大さじ1
 こしょう・・・適量
 ①
 砂糖・・・小さじ1
 塩・・・小さじ1/2
 酒・・・大さじ2
 片栗粉・・・小さじ2

☆作り方☆
 ①もやし、人参、キャベツを洗って水気をきる。ねぎは斜めに薄く切る。
 ②豚肉8cmぐらいに切り、①を入れてもみ、フライパンにもやしなどを広げて豚肉を1枚ずつ重ならないように並べる。
 ③バターを手でちぎってのせ、水大さじ3をフライパンの縁に回し入れる。
 ④ふたをして中火にかけ、煮たってきたら、そのまま6～7分蒸す。
 ⑤ふたを外して、こしょうをふり、混ぜる。(ポン酢、ごまだれをつけても良い)

前号(第41号)において掲載に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

7ページ 平成23年度 赤い羽根共同募金法人募金にご協力いただいた法人
 (誤) 株式会社SIGNALBLUE → (正) 株式会社SIGNALBLUE
 (誤) 有事務所双南舎 → (正) 有建築事務所双南舎

社会福祉協議会へのご寄付

24年1月～2月

ありがとうございました。

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会へ平成24年1月と2月にいただいたご寄付についてお知らせします。
心から感謝申し上げ社会福祉事業に活用させていただきます。

なお、金額等については寄付者の意向によって掲載しています。(敬称は略させていただきます。)

- 【香典・玉串料・御花料返し】
- 《高梁支会》
- 金一封 松原通 小森 清志
 - 金一封 総社市 (故・平松寿男様)
 - 金一封 江藤 順一
 - 金一封 (故・茂様)
 - 金一封 中川 貞雄
 - 金一封 落合町 (故・斐子様)
 - 金一封 谷森 昌由
 - 金一封 (故・フジエ様)
 - 金一封 落合町 森下登始子
 - 金一封 (故・千枝子様)
 - 金一封 中井町 太田井和雄
 - 金一封 (故・時春様)
 - 金一封 岡山市 吉本 英昭
 - 金一封 (故・要一様)
 - 金一封 高倉町 小川 研司
 - 金一封 (故・定子様)
 - 金一封 津川町 上野 俊邦
 - 金一封 (故・卓爾様)
 - 金一封 津川町 須山 昌彦
 - 金一封 (故・一恵様)
 - 金一封 川面町 福本 昌次
 - 金一封 (故・君衣様)
 - 金一封 総社市 南 元幸
 - 金一封 (故・サダコ様)
 - 金一封 本町 山本 豊
 - 金一封 (故・満様)
 - 金一封 落合町 花崎 弘道
 - 金一封 (故・谷一様)
 - 金一封 松原通 風早 英雄
 - 金一封 (故・榮様)
 - 五万円 川面町 石本 隆夫
 - 金一封 (故・基様)
 - 金一封 落合町 山下 和子
 - 金一封 (故・吉光様)
 - 金一封 松山 横田 靖子
 - 金一封 (故・三郎様)
 - 金一封 中井町 中川 隆政
 - 金一封 (故・實様)
 - 金一封 宇治町 松尾 栄
 - 金一封 (故・三三様)
- 《巨瀬地区》
- 五万円 巨瀬町 鍋島 公也
 - 金一封 (故・成松金蔵様)
 - 金一封 松原通 中島 生晴
 - 金一封 (故・フジ様)
 - 金一封 高倉町 小林 道子
 - 金一封 (故・節男様)
 - 金一封 南町 大月 義弘
 - 金一封 (故・茂様)
 - 金一封 高倉町 仲田 哲也
 - 金一封 (故・広太郎様)
 - 金一封 上谷町 埴原 秀一
 - 金一封 (故・毅様)
 - 金一封 横町 東 邦宏
 - 金一封 (故・川原康利様)
 - 一万五千元 川面町 森上 豊
 - 金一封 (故・孝子様)
 - 金一封 川面町 家近 清
 - 金一封 (故・勝子様)
- 《津川地区》
- 金一封 津川町 上野シマ子
 - 金一封 (故・卓爾様)
 - 金一封 津川町 須山 昌彦
 - 金一封 (故・一恵様)
 - 金一封 岡山市 藤井 克治
 - 金一封 (故・一矢様)
- 《川面地区》
- 金一封 岡山市 吉本 英昭
 - 金一封 (故・要一様)
 - 金一封 川面町 福本 昌次
 - 金一封 (故・君衣様)
 - 五万円 川面町 石本 隆夫
 - 金一封 (故・基様)
 - 一万五千元 川面町 森上 豊
 - 金一封 (故・孝子様)
 - 金一封 川面町 家近 清
 - 金一封 (故・勝子様)
- 《玉川地区》
- 金一封 玉川町 中川 貞雄
 - 金一封 (故・斐子様)
 - 金一封 倉敷市 大嶋 信男
 - 金一封 (故・中川君枝様)
- 《中井地区》
- 金一封 中井町 石川 貫一
 - 金一封 (故・利子様)
 - 金一封 中井町 太田井和雄
 - 金一封 (故・時春様)
 - 金一封 中井町 中川 隆政
 - 金一封 (故・實様)
- 《巨瀬地区》
- 金一封 巨瀬町 難波 靖直
 - 金一封 (故・雪野様)
 - 金一封 巨瀬町 上森 敏宏
 - 金一封 (故・輝人様)
 - 金一封 巨瀬町 福島 保夫
 - 金一封 (故・千恵子様)
- 《宇治地区》
- 金一封 宇治町 山下 隆義
 - 金一封 (故・入江高子様)
 - 金一封 宇治町 山下 圭子
 - 金一封 (故・佐千子様)
 - 金一封 宇治町 高田 保穂
 - 金一封 (故・スミエ様)
 - 金一封 宇治町 松尾 栄
 - 金一封 (故・三三様)
 - 金一封 宇治町 小川 長平
 - 金一封 (故・富美子様)
- 《松原地区》
- 金一封 総社市 江藤 順一
 - 金一封 (故・茂様)
 - 金一封 松原町 徳森 隆司
 - 金一封 (故・健一様)
- 《有漢支会》
- 金一封 東京都 山縣 厚子
 - 金一封 (故・貞子様)
 - 金一封 上新山 保子
 - 金一封 (故・数俊様)
 - 金一封 有漢 吉田 澄夫
 - 金一封 (故・高子様)
 - 金一封 有漢 難波 康親
 - 金一封 (故・政子様)
 - 金一封 有漢 植盛 富子
 - 金一封 (故・和一様)
 - 金一封 有漢 河原 緑
 - 金一封 (故・壽郎様)
 - 金一封 有漢 長柄 浩
 - 金一封 (故・厚男様)
- 《成羽支会》
- 金一封 吹屋 小坂 嘉治
 - 金一封 (故・武夫様)
 - 金一封 成羽 藤元 誠
 - 金一封 (故・保江様)
 - 金一封 千葉県 三浦 恵子
 - 金一封 (故・石原タケコ様)
 - 金一封 小泉 高木 孝夫
 - 金一封 (故・正一様)
 - 金一封 小泉 川上 馨
 - 金一封 (故・久子様)
 - 金一封 成羽 沖倉 勉
 - 金一封 (故・久男様)
 - 金一封 兵庫県 那須 義規
 - 金一封 (故・亀夫様)
 - 金一封 下原 吉実 泰雄
 - 金一封 (故・里江様)
- 《落合地区》
- 金一封 落合町 森下登始子
 - 金一封 (故・千枝子様)

- 《川上支会》
 - 金一封 仁 賀 長谷川 久
 - 金一封 三 沢 (故・百合子様)
 - 金一封 三 沢 三村 浩一 (故・和男様)
 - 金一封 三 沢 川上 英雄 (故・ウメコ様)
 - 金一封 高山市 三原 秀子 (故・只志様)
 - 金一封 地 頭 滝川 裕美 (故・常一様)
 - 金一封 三 沢 高平 守 (故・ナミ子様)
 - 金一封 仁 賀 橋本 金貢 (故・堅次様)
 - 金一封 高 山 小田上富美 (故・寿男様)
 - 金一封 仁 賀 武田 義昭 (故・美代子様)
 - 金一封 下大竹 松下 真一 (故・チエコ様)

- 《備中支会》
 - 金一封 平 川 高橋 真二 (故・基壽様)
 - 金一封 布 賀 渡川 政文 (故・俊夫様)
 - 金一封 平 川 今井 時和 (故・小一様)
 - 金一封 布 賀 黒川 浩 (故・剛様)
 - 金一封 布 賀 平川公之助 (故・秀子様)
 - 金一封 平 川 中西 隆範 (故・暁様)
 - 金一封 平 川 前原 孝次 (故・一様)
 - 金一封 平 川 西岡 孝一 (故・コトヲ様)
 - 金一封 西油野 佐藤 澤枝 (故・勇様)
- 《中井地区》
 - 金一封 中井町 角瀬 君子 (退院内祝いとして)
- 《有漢支会》
 - 金一封 有 漢 立藤 政二 (退院内祝いとして)
 - 金一封 有 漢 島田 時雄 (退院内祝いとして)
 - 金一封 有 漢 高原 高志 (退院内祝いとして)
 - 金一封 有 漢 植木 太作 (退院内祝いとして)
- 《一般寄付》
 - 《高梁支会》
 - 金一封 匿 名 (社会奉仕として 第32回、第33回目)
 - 金一封 中井町 角瀬 君子 (退院内祝いとして)
 - 金一封 落合町 花崎 徹 (車いす借用のお礼として)
 - 三万円 中井町 上山 勇 (母トメ様100歳の内祝いとして)
 - 金一封 平成23年度高梁ニコニコ市場実行委員会 (高梁ニコニコ市場売上の一部)
 - 五万円 松原町 平田 重光 (赤木五郎賞褒賞金)

- 《成羽支会》
 - 金一封 長 地 川上 光市 (百歳の祝いとして)
 - 金一封 小 泉 清水 洋子 (退院内祝いとして)
- 《川上支会》
 - 金一封 下大竹 瀧川 元司 (退院内祝いとして)
 - 金一封 仁 賀 三宅 盈 (母 清子様白寿の祝い返しとして)
 - 金一封 吉 木 宮本 宮子 (退院内祝いとして)
 - 金一封 七 地 三宅 計治 (退院内祝いとして)
 - 金一封 領 家 池田 耕治 (退院内祝いとして)
 - 金一封 仁 賀 山室 敦子 (一般寄付として)
 - 金一封 仁 賀 辰巳会一同 (還暦祝い記念として)
 - 金一封 仁 賀 新屋 隆三 (退院内祝いとして)
 - 金一封 地 頭 福島 俊昭 (退院内祝いとして)
- 《備中支会》
 - 金一封 平 川 三宅 通昭 (退院内祝いとして)
 - 金一封 東油野 清水 昭治 (退院内祝いとして)
 - 金一封 東油野 村上 太郎 (火事見舞いとして)
 - 金一封 布 賀 村上 時次 (退院内祝いとして)

編集後記



10ページに掲載の福祉施設の作品展示コーナーの作品は、生きがいミニデイの利用者の皆さんが作られ、また、展示会も開催いたしました。いずれの作品も細かい作業を長時間かけ製作した力作ばかりです。

さて、本市社会福祉協議会では地域福祉活動計画策定に向け、市内全域で座談会を開催し市民の皆さまから福祉ニーズや要望等を伺いました。引き続き、計画策定に向けて、アンケート調査等を行ってまいりますので、ご協力よろしくお願ひいたします。(O)

広報委員になって1年を振り返ってみると、右往左往している間に月日が経ったような気がします。広報紙の紙面作りにも携わるようになり、あらためて記事を文章にすることの難しさや読む側から考えたレイアウトの大切さを知りました。また、今年度から新たに始まった「介護職員さんのおすすめレシピ」では、普段料理をしない私でも作れそうなレシピが掲載されているので、料理が苦手な方も一緒にチャレンジしてみませんか。(S)

先月、宮城県に行く機会がありました。東日本大震災から1年が過ぎましたが、まだまだ復旧が進んでいないように感じられました。

本市社会福祉協議会では、この震災を契機に生まれた被災地との「絆」を大切にし、東日本大震災の復興支援の一環として、今回、チャリティーバザーを行いました。会場は、大勢の方で賑わい、被災地支援に対する市民皆様の強い気持ちを感じることが出来ました。高梁市においても「絆」でつながる地域社会を目指し、また、地域で安心していきいきと暮らせる地域づくりの推進を図って参りますので、引き続きよろしくお願ひします。(Y)